

2026年6月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2026年2月12日

笹徳印刷株式会社

（証券コード：3958）



笹徳印刷株式会社
SASATOKU PRINTING CO.,LTD.

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要
- IV. 2026年6月期 通期業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

- 商 号 : 笹徳印刷株式会社
- 創 業 : 明治23年8月
- 設 立 : 昭和25年7月
- 代 表 者 : 代表取締役社長 杉山 昌樹
- 資 本 金 : 3億925万円
- 証券コード : 3958
- 上場取引所 : 東証スタンダード市場、名証メイン市場
- 売 上 高 : 125億円（連結）
113億円（単体）
※2025年6月期
- 従業員数 : 403名（連結）
300名（単体）
- 決 算 月 : 6月末



笹徳印刷本社

- 連結子会社 : 3社
株式会社サンライト
世徳印刷科技（無錫）有限公司
PT.SASATOKU INDONESIA

国内拠点・海外拠点・関連会社

国内拠点



① 本社 愛知県豊明市



② 東京支社
東京都新宿区



③ 横浜支社
横浜市西区



④ 関西営業所
大阪市淀川区

⑤ 関東甲信越事務所
埼玉県本庄市

海外拠点 (関連会社)



⑩ 世徳印刷科技（無錫）有限公司
江蘇省無錫市



⑪ PT.SASATOKU
INDONESIA
Jakarta



国内工場



⑥ 本社
パッケージ工場



⑦ 商印工場



⑧ 紙器グラビア工場



⑨ 軟包装グラビア工場
愛知県一宮市



関連会社



⑫ 関東工場
埼玉県本庄市



〈企画・デザイン〉
株式会社サンライト
⑬ 本社 愛知県豊明市
⑭ 東京 東京都新宿区

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要
- IV. 2026年6月期 通期業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

「パッケージング分野」、「コミュニケーション分野」、2つの分野を展開。

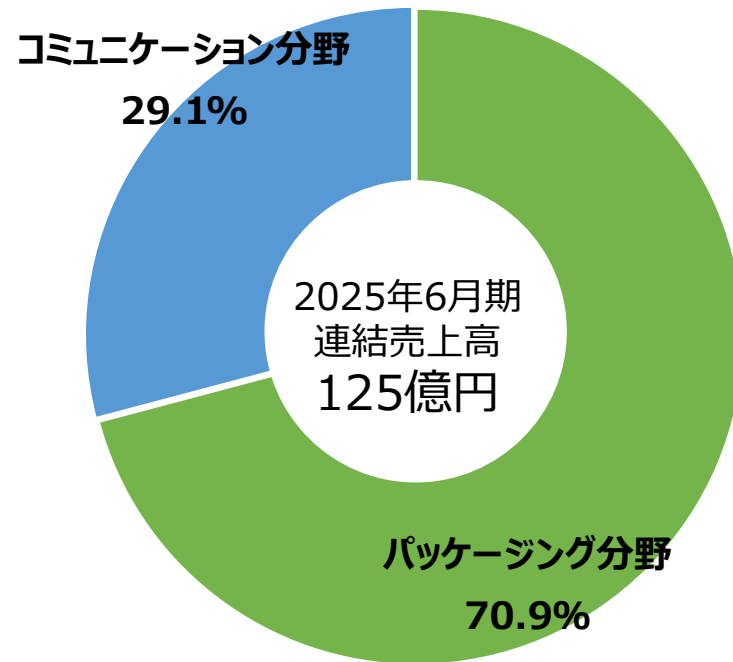
コミュニケーション分野

- ・商業印刷（カタログ、パンフレットなど）
- ・出版印刷（書籍、カレンダーなど）
- ・映像・Webサイトの企画制作
- ・イベントで使用する展示ブースの設計・設営など



クロスメディア、デジタルメディアへの展開

売上構成比



パッケージング分野

紙器及び軟包装などの包装資材
パッケージの企画設計と生産が中心。
（生活雑貨、土産物、化粧品、
食品、菓子、医薬品などの
パッケージング）



ハードからソフトへの展開による
高付加価値ビジネスの強化

二つの分野は相互に関わっており、二つの分野が融合し、
新たなソリューションビジネスを展開する

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要
- IV. 2026年6月期 通期業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要 連結業績ハイライト

SASATOKU

（百万円）

	2025年6月期 第2四半期（中間期）実績 （対売上比）	2026年6月期 第2四半期（中間期）実績 （対売上比）	前年同期比
売上高	6,407	6,178	△3.6%
営業利益	95（1.5%）	93（1.5%）	△2.5%
経常利益	224（3.5%）	199（3.2%）	△10.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	157（2.5%）	151（2.5%）	△3.5%

当第2四半期（2025年7月～12月）は、家庭紙向けパッケージの取引先による生産調整の影響や、情報媒体のデジタル化によるプリントメディアの需要の減少などにより厳しい状況で推移。

- ・売上高・・・自動車向けおよび菓子・食品向けのパッケージ需要や販促イベント関連が堅調に推移したものの、家庭紙向けパッケージの取引先による生産調整、プリントメディアの需要減により減少。
- ・営業利益・・・業務の効率化と品質向上を目的とする内製化を進め利益率の改善を図ったが売上高の減少に伴い営業利益も減少。
- ・経常利益・・・受取利息（15百万円）、受取配当金（55百万円）、投資有価証券売却益（21百万円）等の営業外収益が寄与し経常利益は199百万円となった。

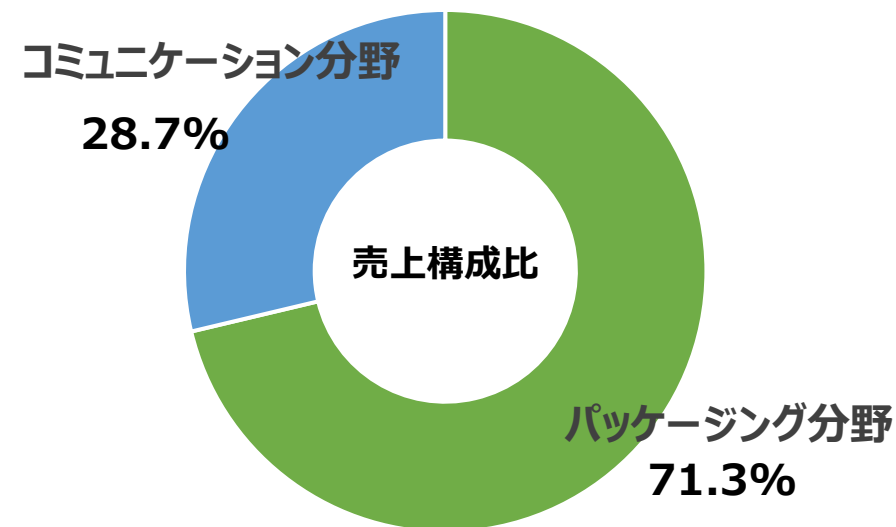
2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要 売上高

SASATOKU

<分野別売上高>

(百万円)

	2026年6月期 第2四半期 (中間期) 実績	前年同期比
売上高	6,178	△3.6%
パッケージング分野	4,404	△0.9%
コミュニケーション分野	1,774	△9.7%



パッケージング分野

自動車向けおよび菓子・食品向けの需要は堅調に推移した一方、家庭紙向けは取引先の生産調整などの影響もあり低調に推移した結果、売上高は減少。

コミュニケーション分野

販促のイベント企画やイベントの運営に関連する商品などの受注は堅調に推移したが、印刷用紙の値上がりが情報媒体のデジタル化を加速させており、プリントメディアの数量が減少し売上高は減少。

※2026年6月期 第2四半期（中間期）の実績推移

SASATOKU

（百万円）

	前期（第1・2四半期）		当期（第1・2四半期）		
	2025年6月期 第1四半期 （7月～9月）	2025年6月期 第2四半期 （10月～12月）	2026年6月期 第1四半期 （7月～9月）	2026年6月期 第2四半期 （10月～12月）	2025年6月期 第2四半期比 （10月～12月）
売上高	2,860	3,547	2,742	3,436	△3.1%
パッケージング分野	2,122	2,321	2,034	2,370	2.1%
コミュニケーション分野	737	1,226	707	1,067	△13.0%
営業利益	△29	125	△13	107	△15.0%
経常利益	△22	246	24	175	△28.7%
親会社株主に帰属する四半期 純利益	△18	175	17	134	△23.4%

第2四半期（10月～12月）は、パッケージング分野は堅調に推移したが、コミュニケーション分野はプリントメディア減少の影響が大きく前年同期間比で13%の減少となった。

2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要 連結貸借対照表

SASATOKU

（百万円）

	2025年6月期	2026年6月期 第2四半期 （中間期）	増減額	主な増減理由
流動資産	5,122	5,756	633	現金・預金の増加、売上債権の増加
固定資産	8,886	9,617	731	投資有価証券の増加（時価総額の増加）
資産合計	14,008	15,373	1,364	
流動負債	3,632	4,105	472	仕入債務の増加 1年内返済予定の長期借入金の増加
固定負債	1,228	1,674	446	長期借入金の増加、繰延税金負債の増加
負債合計	4,860	5,780	919	
純資産	9,148	9,593	445	自己株式の取得、その他有価証券評価差額金の増加
負債・純資産合計	14,008	15,373	1,364	

自己資本比率	65.3%	62.4%
1株当たり純資産	1,629円84銭	—

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要
- IV. 2026年6月期 通期業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

2026年6月期 通期連結業績予想

SASATOKU

(百万円)

	2025年6月期 通期実績 (対売上比)	2026年6月期 通期業績予想 (対売上比)	増減率
売上高	12,555	13,000	3.5%
営業利益	185 (1.5%)	200 (1.5%)	7.8%
経常利益	420 (3.3%)	370 (2.8%)	△12.0%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	246 (2.0%)	260 (2.0%)	5.6%

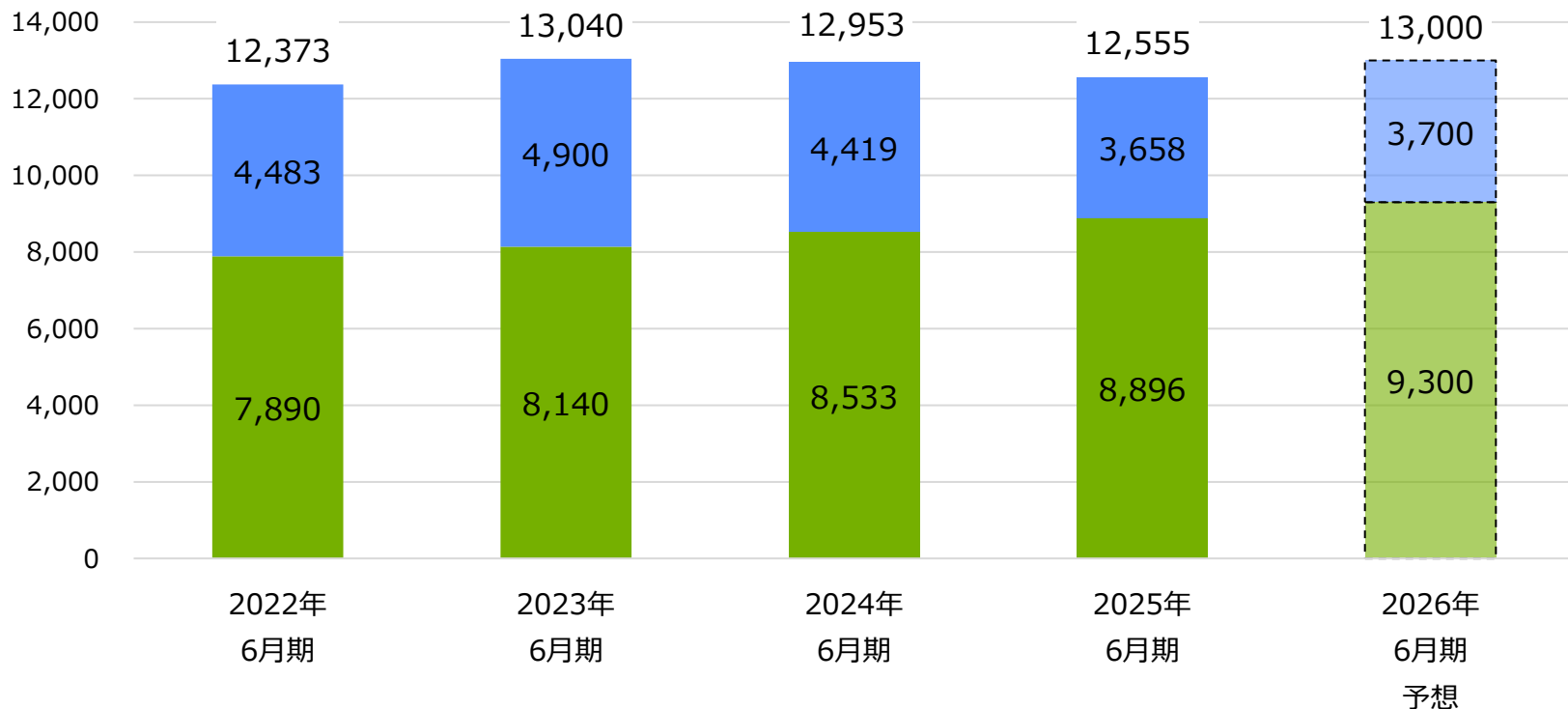
下期も原材料価格の値上げや物流費等のコスト増加が見込まれますが、パッケージング分野を中心に需要も堅調であり、生産性の向上を含む更なるコストダウンを進め利益の確保に努めます。通期の連結業績予想につきましては、2025年8月8日に開示しました数値と変更はありません。

2026年6月期 通期業績見通し 売上高

SASATOKU

連結売上高（分野別）

(百万円)



■ パッケージング分野 ■ コミュニケーション分野



印刷用紙の値上がりが情報媒体のデジタル化を加速し、プリントメディアの数量は減少

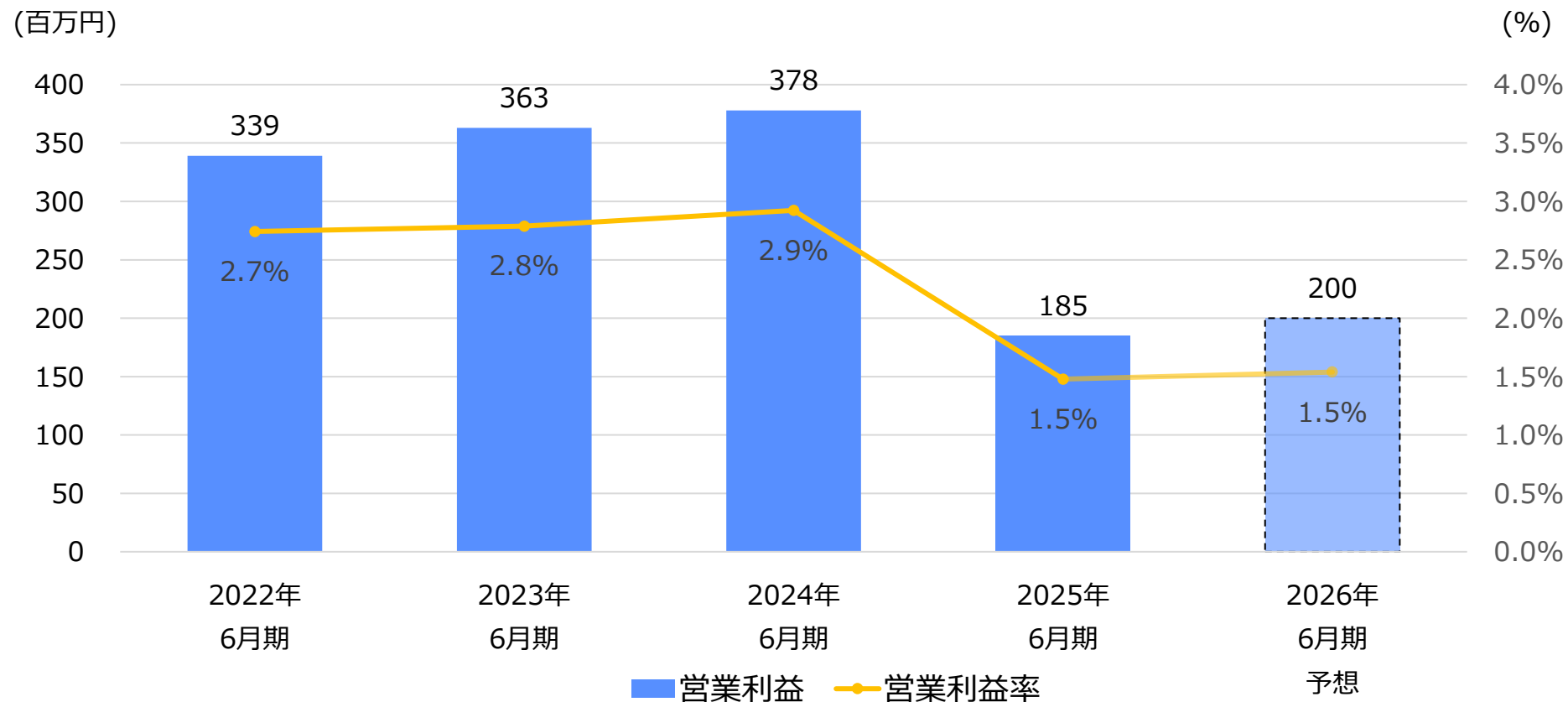


自動車向けおよび菓子・食品向けパッケージが需要が堅調に推移したが、家庭紙向けが低調

パッケージング分野は、自動車向けおよび菓子・食品向けの需要は堅調に推移した。しかし、家庭紙向けは取引先の生産調整などの影響もあり低調となる。

コミュニケーション分野は、印刷用紙の値上がりが情報媒体のデジタル化を加速させており、プリントメディアの数量は減少した。一方、販促のイベント企画やイベントの運営に関連する商品などの受注は堅調に推移した。





連結営業利益と営業利益率



営業利益は200百万円（営業利益率1.5%）を予想。

※2026年6月期通期業績見通し（業種別）

SASATOKU

業種	主要業界	2026年6月期 第2四半期 前年同期比	今後の取り組み
モビリティ	自動車・自動車用品 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・包装資材をターゲットとした新規顧客の開拓 ・デジタルコンテンツの取り込み強化 ・価格転嫁による収益性改善 ・既存取引先への新規商材の受注強化
ライフ	化粧品、菓子・食品 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・菓子食品関係の包装資材をターゲットとした新規顧客の開拓 ・デジタル施策による拡販強化
カルチャー	出版、大学、オフィス 用品関連		<ul style="list-style-type: none"> ・新規商材の取り込み強化 ・コンテンツ、イベント企画の拡販強化 ・教育関連への拡販強化
リビング	生活雑貨、電機業界 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・新規商材の取り込み強化 ・マニュアル、デジタルコンテンツ、イベント企画・運営など幅広い媒体の提案強化

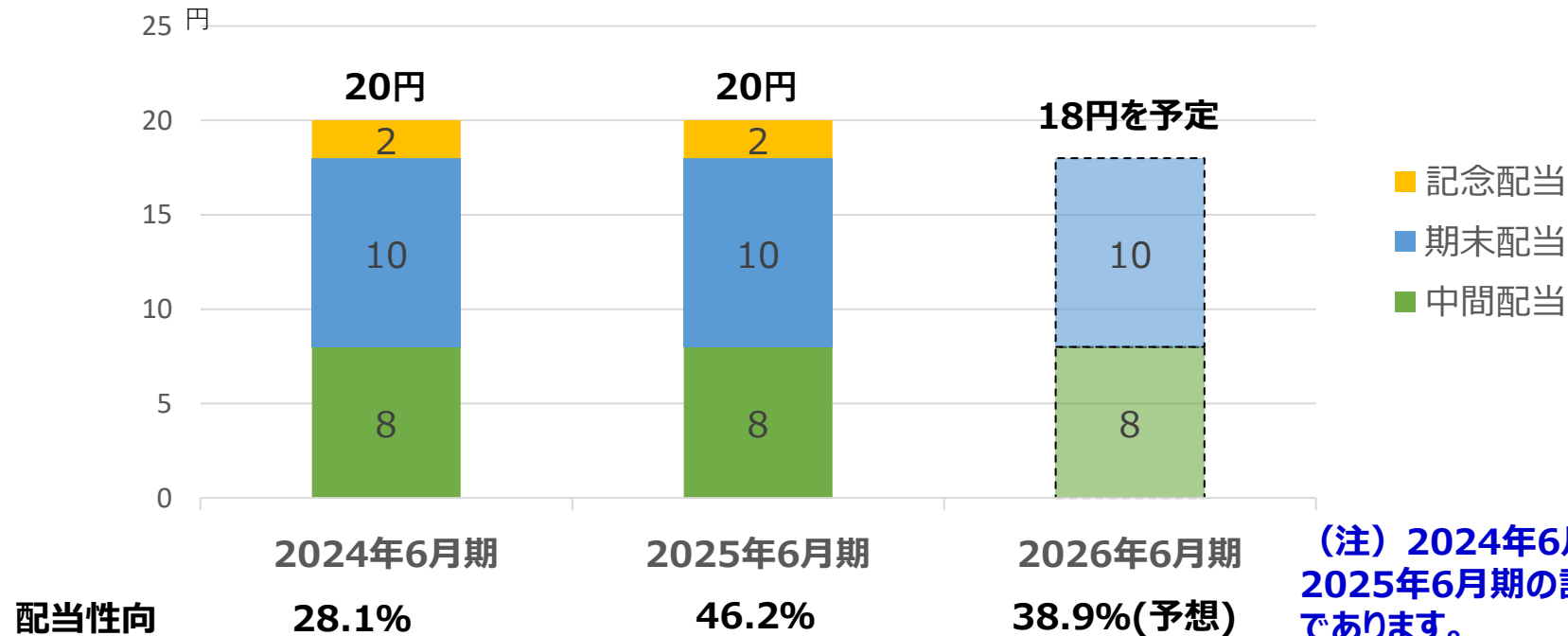
- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要
- IV. 2026年6月期 通期業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

基本方針

長期的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、
成長投資と経営体質強化に必要な内部留保を確保しつつ、**安定的な配当を追求**

配当方針	配当性向	配当金（2026年6月期）
安定配当	30%程度	18円（中間配当8円）

2026年6月期中間配当につきましては、2026年2月12日開催の取締役会において、中間配当8円、配当支払日3月5日で決議されております。



●自己株式の取得を行う理由

当社の株価水準を勘案し、資本効率の向上と持続的な成長を図るとともに、今後の経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行及び株主の皆様への一層の利益還元を目的として、自己株式の取得を行います。

	取得終了	取得終了 (2025年2月12日決議分)	2026年2月12日決議
取得対象株式の種類	当社普通株式	当社普通株式	当社普通株式
取得方法	東京証券取引所における市場買付	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付
取得株式の総数	100,000株 (発行済株式総数(自己株式を除く) に対する割合 1.73%)	199,500株 (発行済株式総数(自己株式を除く) に対する割合 3.52%)	200,000株 (発行済株式総数(自己株式を除く) に対する割合 3.64%)
株式の取得価額の総額	56,410,900円	110,967,500円	140,000,000円
株式の取得期間	2024年9月2日～2024年12月13日	2025年2月13日～2026年2月12日	2026年2月13日～2027年2月12日

当社は資本コストについて、外部機関の意見も参考にしつつ、一定の前提をおいて、定期的な把握を行っており、当社の資本コストは開示をしておりますが、2025年6月期は、資本コストを上回る資本収益性が確保されていることを確認しております。

しかしながら、PBRは1.0倍を下回る水準で推移しており、現状の水準を引き上げていくためには、中・長期的な視点で適時適切に成長投資を実施し、企業価値を高め、収益性に応じて適正な株主還元を行っていくための利益を、安定的に創出する取り組みが重要であると考えております。

当社は、引き続き、成長戦略を推進し、安定的な配当を継続的に実施するとともに、市場動向、株価動向を見ながら、機動的な資本政策を実施してまいります。

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 第2四半期（中間期）決算概要
- IV. 2026年6月期 通期業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

2010 新築ビル完成

1960年代 愛知笹塚印刷株式会社
愛知東洋印刷株式会社
愛知東洋印刷株式会社

1959年 伊勢湾台風

1950 笹塚紙器印刷株式会社
資本金50万円で法

1940 笹塚紙器製作所を設立

1890 名古屋市茶屋町で紙器製造業を開始

名古屋市茶屋町で紙器製造業を開業

1950 笹徳紙器印刷株式会社に社名変更
資本金50万円で法人組織を設立

1940 資本金50万円
笹徳紙器製作所を設立

1959年 伊勢湾台風

1960年代

1980年代 ● 本社工場、関東工場建設
軟包装工場を設立、グラビア製版システムを導入

1990年代 創業100周年を機にCIを導入、笹徳印刷株式会社に改称
 横浜、長野営業所を開設
 国際標準化機構の品質マネジメントシステム
 ISO9002認証取得

2000年代 ● **中国に独資で世徳印刷（無錫）有限公司を設立**
 関東工場に医薬品・食品に対応する第三工場を整備
 世徳印刷（無錫）有限公司にグリーン化総合印刷工場を新設
 国際標準化機構の環境マネジメントシステム ISO14001認証取得

2010年代 ● インドネシアのジャカルタに
PT.SASATOKU INDONESIAを設立
本社事務棟竣工、FFS（フルフィルメントサービス）本部新設

2020年代 ● ハイテク機器設備導入を視野に入れた
世徳印刷科技（無錫）有限公司を設立

2023年9月
東京証券取引所スタンダード市場、
名古屋証券取引所メイン市場に上場



Good Communication, Good Partner

笹徳印刷グループは、時代に即したコミュニケーションで
お客さまとマーケットをつなぎ、満足され、感動される品質で
信頼を築く良きパートナーであり続けます。

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包しております。その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予測に関する記述によって明示的または暗黙的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは、未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

＜お問い合わせ先＞

笹徳印刷株式会社 広報・I R

<https://www.sasatoku.co.jp/IR/>



SASATOKU

SASATOKU PRINTING CO.,LTD